

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部2年 祝迫美羽

① 学習成果

私は「韓国が好き」「韓国のことをもっと知りたい」という気持ちだけでこのプログラムに申し込み、韓国語の知識はほとんど無いに等しい状態でこのプログラムに参加しましたが、このプログラムを通して韓国語が少しは話せるようになっただけでなく、韓国のことをより知れたり、韓国人でも日本人でもない人の視点からの韓国や日本についての考えを知れたりできたことがとてもよかったです。プログラム参加前から韓国ドラマやkpopのコンテンツを通して韓国についてある程度知っていると思っていましたが、実際3週間韓国で過ごし、日常生活の中で韓国の方と関わることで、韓国について新しく様々なことが知れたように感じます。日韓の関係は政治的にはまだまだ問題も残っていると思いますが、政治的にも経済的にももっと良い関係を築いていけると感じたので、これからももっと韓国について知りたいと思いました。

② 海外での経験

韓国の3週間は一日一日これでもかというほど行動して有効活用でき、たくさんの経験をする事ができました。中でも語学堂で同じクラスで仲良くなったネパール人とおしゃべりしたこと、チムジルバンに行ったことが印象に残っています。ネパールの女の子は私より1歳年下でしたが、具体的な夢をしっかりとっていて、その夢の実現のため韓国の大学で学びたいと奨学金を自分の力でとって韓国に来ていました。まだ将来のしっかりとした夢を見つけれない私にとって彼女の話は刺激的でしたし、私ももっと頑張らないといけないと思われました。チムジルバンは友人と二人で行きました。観光客向けではなく地元の人だけが行くようなところで韓国語しか通じない場所でしたが、かえって本当の韓国文化を味わえたようでよかったです。サウナに入っていると韓国人のおじさんが話しかけてくれ、語学堂で学んだ簡単な表現を使って少し会話することができ、韓国語で話せたという喜びを味わいました。そのおじさんが最後にはシッケという韓国の飲み物を「韓国語頑張って」とおごってくれ、韓国の方の優しさにふれました。もっともっと韓国語で話せるようになりたいと思った思い出です。

③ プログラム内容

プログラムは主に9時から13時までが語学堂で韓国語の授業、午後は自由時間という形でした。また午後には、3週間のプログラムのうち1週目には共同セミナーがあり、2、3週目週に2～3日延世大学の授業を聴講する機会がありました。語学堂の授業は各自の韓国語のレベルにあわせてクラスに振り分けられます。同一レベルであっても多くのクラスがあるため、京大生の参加者と同じクラスになることは少ないように感じます。私のクラスは日本人2人、ネパール人1人、ポルトガル人1人、フランス人1人、マレーシア人1人、中国人4人のクラスでした。講義は主に韓国語と補足程度の英語で行われますが、先生が身振り手振りで分かりやすい韓国語で話してくれるので、韓国語の知識があまりなくてもついていけるかと思います。私は1級で一番下のクラスでしたが、同じクラスの人が多くが韓国語の基礎知識がある状態でした。ペアワークもたくさんあり、韓国語を話す良い機会で、とても楽しかったです。延世大学の講義は国際学部の講義だけあって生徒の英語力の高さに圧倒されました。しかし先生の英語はとても聞き取りやすく、興味深い講義を受けることができました。

④ 進路への影響

まだ具体的な希望進路は決まっていますが、今回のプログラムを通して、「異文化を知りたいという意欲が強いんだな」「海外の人と関わるのが好きなんだな」と自分の嗜好を改めて再認識しました。ですので、

なんらかの形で海外に関われるような進路に進みたいと思っています。また語学堂で韓国語を学ぶ外国人の数にびっくりしたのですが、日本は韓国と違って働きたくてもビザが取るのが難しいから、仕事を探す意味で韓国語を学ぶ人が多いと言われたのが印象に残っています。日本ももっと外国の人が働きやすいような仕組み作りができたらいいなとも感じました。

저와 함께 해주셔서 감사합니다. 앞으로도 한국어 공부 열심히 하겠습니다!!

• English lecture

I took gender class and history class. I'd like to focus on the history class. In the history class, I was able to learn about the history of Korea, including its relationship with Japan. The teacher spent a lot of time in the U.S., so we could learn about Japan-Korea issues from a relatively neutral perspective. In particular, I was able to learn about the Korean side of the Takeshima issue, which is something I would not have been able to learn much about if I had stayed in Japan. Although Japan and South Korea still do not have a good relationship politically, and there are some unresolved issues, I felt that it is important to first understand both sides' claims and to seek a compromise between the two, rather than only insisting on one's own country's claims. Through this lecture, I felt that I would like to learn more about Korean history not only from the Japanese perspective, but also from the Korean perspective! The class was very easy to understand and interesting, and I am very glad that I was able to attend.